

当初・変更

入札執行機関 41310 県北建設事務所

入札 (見積) 執行調書入札等 (契約) 結果書

年災		事項		契約	26年 3月 18日
工事番号	13-41310-0400	工事名	道路橋りょう整備 (交付) 工事 (橋梁補修)	着工	26年 3月 18日
入札執行年月日	26年 3月 6日	発注種別	01 一般土木工事	完成	26年 10月 20日
審議番号	公所	000000	本庁	発注標準等級	
路線・河川名	国道115号			予定価格	
工事箇所 自	福島市土湯温泉町字猪倉地内			38,016,000	
至	西鴉川橋				
工事概要	橋梁補修L=110m 橋面舗装 A=933.3m ² 防護柵設置 L=238.2m 97.15%				

業者コード 業者名	指名理由	落札業者の住所	
		入札額及び再入札額	落札額 (契約額)
100002391 東信建設工業 (株)		(1) 34,500,000 (3)	(2) (4)
100002390 東栄建設 (株)		(1) 33,000,000 (3)	(2) (4)
100002823 (株) 菅野土建		二本松市 西勝田字杉内255-2	
		(1) 34,200,000 (3)	(2) (4) 36,936,000
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)
		(1) (3)	(2) (4)

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 随意契約とする理由、変更契約の内容は、裏面のとおり。

総合評価方式入札結果

工事種別 一般土木工事

工事執行権者

県北建設事務所長

工事番号	13-41310-0400	工事名	道路橋りょう整備(交付)工事(橋梁補修)	予定価格(円)	38,016,000	工期	217日間
路線河川名	国道115号	工事箇所	福島市土湯温泉町字猪倉地内(西丸山橋)	橋梁補修工 L=110m	橋面舗装工 A=933.3m ²	防護柵設置工 L=238.2m	

開札予定日	平成26年3月6日
技術審査日	平成26年3月4日

学識経験者の職・氏名		落札者決定基準		落札者の決定	
職業等	氏名	意見の適否	意見聴取月日	落札者決定の際の意見聴取	意見の適否
第3回総合評価委員会	別紙のとおり	適	平成25年6月17日	要	要
			平成 年 月 日	要	要
			平成 年 月 日	要	要
			平成 年 月 日	要	要
			平成 年 月 日	要	要

入札参加者	入札参加者の所在地 (契約する本店・支店・営業所)	標準点	加算点	標準点 +加算点 (A)	入札額 (円:税抜き) (B)	評価値算出価格 (円:税抜き) (C)	評価値 (A/C) ×1,000,000	順位	低価格入 札の該当	備 考
東栄建設(株)	猪苗代町	100	3.00	103.00	33,000,000	33,000,000	3.1212	2	-	
東信建設工業(株)	猪苗代町	100	4.50	104.50	34,500,000	34,500,000	3.0289	3	-	
(株)菅野土建	二本松市	100	9.00	109.00	34,200,000	34,200,000	3.1871	1	-	落札者
入札参加者 3者										

※評価値は少数第5位を切り捨て、少数第4位まで表記する。ただし、表記の値では順位が分らない場合は、順位が分かる桁数で表記する。開札時点で有効の入札参加者は全て順位を記載すること。
 ※契約締結後の公表時には予定価格を記載して公表すること。また、備考欄には、「落札者」「無効(理由も記載すること)」「失格(理由も記載すること)」等を記載すること。
 ※学識経験者の欄が不足する場合は、「別紙のとおり」と記載して会議出席者名簿等を添付すること。
 ※低価格入札の該当欄には、調査基準価格を下回った入札の場合「低」を記載すること。調査基準価格を下回らなかった入札の場合「-」を記載すること。

総合評価方式評価結果

工事種別 一般土木工事

工事執行権者 県北建設事務所長

工事番号	13-41310-0400	工事名	道路橋りょう整備(交付)工事(橋梁補修)	工期	217日間
路線河川名	国道115号	工事箇所	福島市土湯温泉町字猪倉地内(西鴉川橋)	橋面舗装工 L=110m	橋面補修工 L=238.2m
地域要件	隣接3管内	入札参加者の所在地等の評価対象地域	県北建設事務所管内		

開札予定日	平成26年3月6日
技術審査日	平成26年3月4日

入札参加者	企業の技術力 (様式第6号(特別簡易型は様式第11号))		配置予定技術者の技術力 (様式第7号(特別簡易型は様式第11号))		企業の地域社会に対する貢献度(様式第8号(特別簡易型は様式第11号))		施工計画 適切性 (様式第9号)	加算点(a)	技術提案 (標準型のみ) (様式第10号)	特別 配点	加算点 = (a) + (b) + 特別配点(c)
	施工能力 2.0点 1.0点	優良工事 1.0点	品質管理 1.0点	技術者確保 1.0点	優良工事 1.0点	施工実績 1.0点					
東栄建設(株)	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.00%			3.00
東信建設工業(株)	2.0	1.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	4.50%			4.50
(株)菅野土建	2.0	1.5	0.0	0.0	1.0	0.5	1.25	8.50%		0.5	9.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	0.00			0.00
無効を除く参加者 3者合計	5.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00		0.5	16.50
無効を除く参加者 3者平均	1.83	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.33		0.17	5.50

※技術提案の採否は、採の場合は「○」、否の場合は「×」と表記すること。
 ※技術提案の採否が否の場合には、「加算点(b)」の欄には「/」を記入して公表すること。
 ※契約締結後の公表時には「優良工事」「優良工事」「優良工事」「優良工事」を記入して公表すること。
 ※「技術者確保数」と「技術士」「技術士」「技術士」を記入すること。
 ※「優良工事」については、一般土木工事又は舗装工事の場合は①～④から2項目、それ以外の工事の場合は①～⑤から2項目を選択する。
 ※無効の場合は、各点数欄を空白とし、加算点合計((a)+(b))欄に「無効」と記載する。
 ※落札者以外の加算点は、技術提案書の記載内容のみによる評価であり、資料等により確認したものでない。

入札公告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の6第1項及び福島県財務規則(昭和39年福島県規則第17号)第246条第1項の規定により公告する。

平成26年2月7日

福島県出納局長 鈴木 登三雄

1 入札に付する事項

工事番号	13-41310-0400		
工事名	道路橋りょう整備(交付)工事(橋梁補修)		
工事場所	福島市土湯温泉町字猪倉地内(西鴉川橋)(国道115号)		
工事概要	橋梁補修工 L=110m 橋面舗装工 A=933.3㎡ 防護柵設置工 L=238.2m		
完成期限	工期217日間		
予定価格	***円 (消費税及び地方消費税相当額を含む。)	左の欄に金額の表示がない場合は、予定価格は契約締結後に公表する。	
最低制限価格	該当なし	・該当する場合は、施行令第167条の10第2項に基づき最低制限価格を設定する工事である。	
総合評価方式	復興型	・該当する場合は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。 ・落札候補者の決定方法及び総合評価の方法については、入札説明書による。 なお、当該入札では評価基準価格を設定する。	
低入札価格調査	該当	・該当する場合は、施行令第167条の10の2第2項の規定に基づく低入札価格調査制度適用工事である。	
	該当	・誓約書(低入札価格調査事務処理要領調査様式第12号)の提出をもって調査に代える工事である。	
施工体制事前提出方式	該当なし	・該当する場合は、福島県施工体制事前提出方式の適用工事である。 ・施工体制事前提出方式における失格基準、調査内容及び様式等については、入札説明書による。	
電子入札	該当なし	・該当する場合は、電子入札対象工事である。 ・電子入札に参加するには、下記アドレスより事前登録が必要である。 ・電子入札システム(アドレス) http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=26730	
電子閲覧	該当	・該当する場合は、電子閲覧対象工事である。 ・電子閲覧システム(アドレス) http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=21708	
現場代理人の常駐義務の緩和	該当	・該当する場合は、この工事については、落札者の申請に基づき発注者が認める場合、先行工事の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合、発注者は必要な条件を付すことができる。	
再資源化等	該当	・該当する場合は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。	
混合入札	復興JV以外	該当なし	・該当する場合は、単体企業又は特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札である。
	復興JV	該当なし	・該当する場合は、単体企業又は福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱附則第3項で規定する別に定めるものについて(平成23年12月28日付け23財第1971号通知平成25年9月3日一部改正)における特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札である。

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる条件及び入札説明書に掲げる条件をすべて満たしている者であること。

発注種別	一般土木工事	・福島県平成 25・26 年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されている者であること。
格付等級	A, B	
許可業種	土木工事業	・建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）の左の欄に表示した業種の許可を受けている者であること。
地域要件	隣接 3 管内	<p>・県内とは、福島県内に本店を有する者であること。</p> <p>・隣接 3 管内とは、県北建設事務所管内、県中建設事務所管内（郡山市内、田村市内又は田村郡内に限る。）、喜多方建設事務所管内又は相双建設事務所管内に本店又は支店・営業所（※）を有する者であること。</p> <p>・管内とは、県北建設事務所管内に本店又は支店・営業所（※）を有する者であること。</p> <p>※ 支店・営業所とは、県内に本店を有する者（県内業者）の支店・営業所であって福島県平成 25・26 年度工事等請負有資格業者名簿に記載された委任先をいう。</p>
技術者の工事経験	必要なし	<p>・左の欄に表示した工事経験（配置技術者としての経験）がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請（JV の場合は、代表構成員に限る。また、公共工事に限る（発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。）。なお、ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（実績当時のもの）で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。）の配置技術者として携わった経験をいい、この場合の配置技術者としての経験とは、建設業法第 26 条第 1 項で規定する主任技術者又は同条第 2 項で規定する監理技術者としての経験をいう。</p> <p>・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p>
企業の工事实績	必要なし	・元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績がある者であること。
企業の工事規模実績	必要なし	<p>・元請として、左の欄に表示した期間に、1 件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績（JV の場合は、出資比率に相当する額とする。）があること。</p> <p>ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は 1 件とみなす。</p>
JR 近接工事	該当なし	<p>・東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できる者であること。</p> <p>なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者（在来線）資格認定証」を有する者をいう。</p>

3 入札参加手続等

本件入札においては、開札後に入札参加資格の審査を行うため、事前の入札参加申請手続等は要しない。

設計図書等の質問受付方法、入札書等の提出、落札候補者の公表及び入札結果の公表については、入札説明書による。

設計図書等の閲覧、入札執行などの期間や場所は次に示すとおりとする。

項目	期間又は期日	場 所 等
設計図書等の閲覧等	平成26年 2月 7日(金)～ 平成26年 2月21日(金)	電子閲覧システム
設計図書等の質問	平成26年 2月 7日(金)～ 平成26年 2月13日(木)	福島市中町7番17号ふくしま中町会館7階 福島県北建設事務所総務部総務課 電話番号 024-522-2105 ファクシミリ 024-522-2126 電子メール kenpoku.ken@pref.fukushima.lg.jp
質問の回答予定	平成26年 2月17日(月)	福島県出納局ホームページ ※入札書等の提出前に、必ずホームページにて、質問回答の有無を確認すること。
入札参加受付 (電子入札の場合)	—	入札書のあて先は「福島県」と記載し、提出部数は1部とする。
入札書等の提出	郵便局差出期限日 平成26年 2月21日(金) 配達日指定期日 平成26年 2月24日(月)	郵便番号 960-8670 福島市杉妻町2番16号 福島県出納局入札用度課
開札	平成26年 3月 6日(木) 午前9時30分	開札は公開とする。 福島市杉妻町2番16号 福島県庁 西庁舎3階 301会議室
落札者の決定 予定日	平成26年 3月14日(金)	

4 入札参加資格要件の審査に関する事項

落札候補者が決定した場合は、開札後速やかに当該落札候補者に電話等確実な方法により通知する。
なお、落札候補者の入札参加資格要件の審査、落札者の決定及び入札参加不適格の通知については、入札説明書による。

5 入札保証金及び契約保証金

入札保証金及び契約保証金については、入札説明書による。

6 入札の無効

2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び福島県工事等競争入札心得等において示す入札に関する条件等に違反した入札は、無効とする。

7 その他

- (1) この工事はフレックス工事であり、受注者は落札者決定日の翌日からの着工猶予期間（フレックス期間）90日以内に着工日を任意に設定できる。
- (2) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象間接費」という。）について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、土木工事標準積算基準（福島県土木部）に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食費、通勤等に要する費用

- (3) その他詳細は、入札説明書による。また、不明な点は次に示すところに照会すること。

問い合わせ先 福島県出納局入札用度課

電話番号 024-521-7413

ファクシミリ 024-521-7962

電子メール nyuusatsu_youdo@pref.fukushima.lg.jp

〈注 意〉 提出する書類一覧表（郵便入札の場合、入札書と一緒に提出する書類一覧表）

提出書類	郵便入札の場合		電子入札対象工事の場合	
	外封筒	中封筒	入札参加受付時	入札書等提出時
技術提案書	○		—	
入札書		○		—
見積内訳書（施工体制事前提出方式の場合のみ該当）		—		
見積内訳総括表（低入札価格調査事務処理要領様式第6号）		○		—
工事費内訳書（福島県施工体制事前提出方式試行要領様式1号）及び同様式を記録したフロッピーディスク又はCD-R（追記型コンパクトディスク）		—		
下請工種内訳書（福島県施工体制事前提出方式試行要領様式2号）		—		

※ 郵送の際は必ず、外封筒及び中封筒（封かんすること）の二重封筒としてください。

※ 封筒の外または中に入れる書類を間違えると無効になります。